

相川小学校

学校だより

仁 知 勇

令和2年度

第13号

R3.3.25

夢をもち ともに生きる 相川っ子

校長 嶋見 靖之



一昨日第3学期終業式を、昨日は第74回卒業証書授与式を、そして本日離任式を行い、令和2年度の教育活動はすべて終了しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新しい生活様式に基づいた学校生活でした。行事等も例年と違う時期や内容で行いました。臨時休校の時期もありました。そのような中、子どもたちは生活を工夫し友だちを大切にして学校生活を送りました。よくがんばった、とほめたい気持ちで一杯です。ご家庭でも朝の検温やマスク準備など1年間ご協力いただきました。感謝申し上げます。

さて、本号の標題は1月の学校運営協議会でまとめた学校・家庭・地域が目指す子どもの姿です。委員の皆様の考えをキーワード化し整理したものです。

この話し合いの中で思い出されることがあります。それは「ともに生きる」について議論したことです。話し合いの中ではこの言葉と並んで「たくましく生きる」という言葉がありました。二つとも入れるのは大変と考え、どちらを入れるか議論になりました。たくましく生きる、つまり自立なのか、ともに生きる、つまり共生なのかです。

自立と共生はどちらも大事です。話し合いでは共生を重視することになりました。私の中では2つの意味があると考えています。一つはこれからが共生の時代であるということです。現代は多様性を認め、差別・偏見なく一人一人を尊重する人権の時代です。これからはずっと変わらない価値観となるからです。もう一つはどんなにたくましく生きようとしても人は支え合わなくては生きていけないということです。

自立の力は「夢をもち」に託しました。あわせて自己肯定感を育むことで自立の力が高まってくると考えます。自己肯定感もまた他者とのかかわりの中で育まれるものです。共生社会の中でこそ自立ができると思ったのです。

「ともに」とひらがな表記をしたのは、対象が人だけでなく自然や文化といった多岐にわたることを意味しています。

そして「相川っ子」は言うまでもなく「相川の子ども」のこと。相川を愛し相川とつながる子どもです。学校運営協議会を核にご家庭・地域の皆様と標題の姿を共有し、皆様と一緒に子どもたちを育てていきたいと考えています。

1年間、相川小学校の教育にご協力いただきありがとうございました。来年度もよろしく願いいたします。